

LGS(軽量鉄骨)、鉄骨の基準出しツール 「マグネ水系」発売 鉄骨まわりの基準出しを合理化

株式会社TJMデザイン(本社・東京都板橋区小豆沢3-4-3、社長・田島庸助)は、施工基準を示す水系を、LGSや鉄骨工事で任意の高さや方向に設定できる保持器を2月1日から発売します。

商品名は「ピーライン マグネ水系 手巻き」です。メーカー希望小売価格は3,465円(本体価格3,300円)です。



(本製品の目的)

本製品は、主にビルの天井などに多用されている鉄骨構造材のLGSから、一定の幅の基準線を水系で設定するとき等に等に利用します。目的は天井ボードの位置決めなどです。

(本製品の仕事)

本製品は親機と子機のカップルで機能します。共に底面にLGS等、鉄類に固定できるマグネットを搭載しています。親機は30mの水系を巻いた糸巻を搭載、子機はその水系の端を固定しています(カルコと同じ役目)。親機をLGSに置くようにして(磁力で)固定し、子機を引いて任意の場所に固定し、親機のハンドルを回して水系を張ります。この作業で基準出しは完了します。

親機と子機のカーソルを移動させて水系の高さを任意で設定できます。高さは0(面一)、7~50ミリ、最大100ミリです。

従来、鉄骨まわりの基準出しは、コンベックスで糸の高さを設定し、木っ端をはさむなどして高さを出していました。本製品によって鉄まわりの基準出しに大幅な省力が図られます。

- 特長
- ・マグネットは「マグ力 10kg」と強力、天井面にも密着します
 - ・鉄以外の木材にも釘・木ネジで固定できるフック穴も装備
 - ・高さ調整ガイドは、面一、7ミリから50ミリまでミリピッチ、最大は 100 ミリ
 - ・カーソルを移動させるだけのスライド式ワンタッチ高さ調整ガイド
 - ・糸がらみが少ない手巻き式。糸巻30m 内蔵 (細糸/太さ 0.6mm)